

記載例

様式第1号（第4の2関係）

北海道リサイクル製品認定申請書

令和元年 7月 1日

北海道知事 様

申請者

住所 〒000-0000

北海道札幌市北3条西6丁目

氏名 北海道循環株式会社 代表取締役 循環 太郎 印*

(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

電話番号 000-000-0000

北海道リサイクル製品認定及び利用推進要綱第4の2の規定により、次のとおりリサイクル製品の認定を申請します。

1	品目名	路盤材
2	製品名	ロバンドFA
3	製品の型式、形状、寸法及び規格	粒状 (0~40mm) 荷姿: バラ 又は フレコンバック (1 m ³) 入り
4	製造事業所	所在地 苫小牧市字勇払〇〇番地 名称 北海道循環株式会社 苫小牧工場
5	添付資料	(1) 別紙1 循環資源利用説明書 (2) 別紙2 製品製造等における環境負荷低減に関する評価書 (3) 別紙3 製造事業所の環境法令等遵守状況及び製品販売に関する説明書 (4) 別紙4 品質、環境安全性への配慮及び配合率に関する基準適合性 (5) 製品の説明書、紹介パンフレット等 (6) 製品製造フロー説明書 (7) 製品の概観を示すカラー写真 (8) 製造事業所の周辺環境を示す図面 (9) 直前の事業年度における決算書 (10) その他参考資料

担当者連絡先	所属・氏名	苫小牧工場総務部 部長 苫小 牧太
	所在地	苫小牧市字勇払〇〇番地
	連絡電話番号等	(電話) 0000-00-0000 (FAX) 0000-00-0000
	連絡 E-mail	tomako.maita@hokkaidojunkan.co.jp

※ 氏名(法人にあつては代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつては代表者)が署名することができる。

別紙 1

循環資源利用説明書

1 製品の原材料として利用する道内循環資源（前年実績）

循環資源の種類	排出者名	発生場所（市町村名）	利用量（t）
ばいじん（石炭灰）	循環製紙㈱札幌工場	札幌市	12,000 t（予定）

2 製品の原材料として利用する道外循環資源の割合（道外循環資源を利用している場合のみ記載）

（1）循環資源の種類別利用割合

循環資源の種類	ばいじん（石炭灰）		
循環資源の種類毎の年間 利用量	道内循環資源利用量（A）		12,000 t（予定）
	道外循環資源利用量（B）		6,000 t（予定）
	道内循環資源利用割合 $(A/(A+B) \times 100)$		66.7%
道内循環資源の主な排出 者名及び発生場所（市町 村名）	循環製紙㈱札幌工場（札幌市）		
道外循環資源の主な排出 者名及び発生場所（都府 県及び市町村名）	道外電力㈱川崎発電所（神奈川県川崎市）		
道外循環資源利用の理由	道内循環資源のみでは、需要量をまかなえないため		

※ 利用する道外の循環資源の種類が複数ある場合は、本記載欄を適宜挿入して追加する。

（2）循環資源の利用割合（総量）

循環資源の年間利用 総量	道内循環資源利用総量（C）		(t)
	道外循環資源利用総量（D）		(t)
	道内循環資源利用総量割合 $(C/(C+D) \times 100)$		(%)

※ 利用する道外の循環資源の種類が複数ある場合のみ記載。

3 製品普及の効果

効果 （循環資源の循環的 利用の促進及び廃棄 物の最終処分量の削 減に対する効果（自己 評価））	<p>本製品は、製紙工場の石炭バイラーや石炭火力発電所から排出されるばいじん（石炭灰）にセメント系固化剤や再生骨材を加えて混練し、造粒・固化させた路盤材である。</p> <p>使用するばいじん（石炭灰）は各種のリサイクルが進んでいるが、いまだ埋立されているものもあり、本製品の製造・普及により道内の1万t以上のばいじん（石炭灰）が再生され、埋立量を削減することができる。</p> <p>また、本製品では原材料の一部に再生骨材を使用しており、コンクリートからのリサイクル促進にも寄与することができる。</p>
---	---

製品製造等における環境負荷低減に関する評価書

段階	他の一般製品との比較等による自己評価	
製造加工段階	増加する ・ 変わらない ・ 低減する	
	(理由) ・ 本製品の製造にあたり、混錬・造粒・固化を一体的に行う設備を導入しており、通常の再生路盤材の製造工程と比較してエネルギー消費が少ない。 ・ また、一般の路盤材と比較すると、天然資材である砂利・碎石の使用がなく、天然資源の使用抑制が図られている。	
流通段階	増加する ・ 変わらない ・ 低減する	
	(理由) ・ 一般的な再生路盤材（コンクリート再生骨材）と比較して比重が軽く（コンクリートの比重は2.3、本製品は1.1）、輸送に係るエネルギー効率が向上する。	
使用段階 (施工及び解体時含む)	増加する ・ 変わらない ・ 低減する	
	(理由) ・ 路盤材としての性状・性能は、一般的な製品と大きな違いがなく、使用段階における環境負荷は変わらない。なお、ばいじん中の有害物質については、セメント系固化材と薬剤の添加により溶出防止が図られている。	
再生利用段階	再生利用可能の有無	可 ・ 不可
	(説明) ・ 本製品の再度の再生利用は想定していない（ただし、回収方法や回収後の性状によっては、一部再利用可能なものもあると思われる）。	
廃棄段階	増加する ・ 変わらない ・ 低減する	
	(理由) ・ 一般的な製品と同様、廃棄する際は埋立処分が想定される。	
その他特記事項		

別紙3

製造事業所の環境法令等遵守状況及び製品販売に関する説明書

1 製造事業所の環境法令等遵守状況

法令等の名称	許可、届出、協議等の状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物収集運搬業 第 0000000000 号 (平成 30 年 3 月 25 日) 産業廃棄物処分業許可については、許可申請中 (令和〇年〇月〇日付けで〇〇振興局あて申請済)
北海道循環型社会形成の推進に関する条例(第 24 条～第 30 条: 道外産業廃棄物の搬入事前協議関係) ※ 道外循環資源の利用がある場合に記載	<ul style="list-style-type: none"> 道外産業廃棄物の道内搬入に係る事前協議書(案)を作成し、令和〇年〇月〇日に道庁・循環型社会推進課と協議済 ⇒事業開始(搬入開始) 60 日前までに協議書提出予定

※ 関連する環境法令が他にもある場合は、本記載欄を適宜挿入して追加する。

環境関係法令の違反による罰則 又は命令等の不利益処分の有無 (過去5年以内)	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	<内容(有の場合)>

2 製品販売に関する事項

販売(予定)年月日	令和〇年〇月(予定)
販売(予定)地域	北海道内全域(予定)
主な取扱店(予定)	自社直接販売(予定)
製品の販売(予定)価格	1,200 円 / t (予定)

(既販売・更新申請時)

売上額(事業全体)	2,150,000,000 円 (2019 年 3 月期)
うちリサイクル製品売上	12,000,000 円
リサイクル製品販売量	10,000 t / 年 (2019 年 3 月期)

※ この欄(売上額等)は「すでに販売を開始している製品」または「更新申請の製品」の場合に記載する。

別紙4

品質、環境安全性への配慮及び配合率に関する基準適合性

1 品質に係る基準適合性

(1) 日本産業規格又は日本農林規格への適合性

規格の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
規格の名称及び番号	
適合性	適 ・ 否
適合を証明する資料	

(2) 北海道が定める工事共通仕様書に定める規格への適合性

規格の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
関係条項等	北海道土木工事共通仕様書（平成30年10月版） 1-2-5-8 路盤材料
適合性	<input checked="" type="checkbox"/> 適 ・ 否
適合を証明する資料	参考資料①：路盤材料の品質規格関係試験結果（修正CBR、すりへり減量、安定性試験損失量、75 μ ふるい通過量、表乾比重） 参考資料②：凍上試験結果

(3) その他の規格等の適合性※

規格の有無	有 ・ 無
規格の名称等	
適合性	適 ・ 否
適合を証明する資料	

※ (1)、(2)のいずれの規格等にも定めがない製品の場合のみ記載

(4) 製品に適用される関係法令等への適合性

法令等の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
法令等の名称	
適合性	適 ・ 否
適合を証明する資料	

(5) 北海道グリーン購入基本方針に係る判断基準への適合性

特定調達品目の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
特定調達品目の名称	
適合性	適 ・ 否
適合を証明する資料	

記載例

2 環境安全性への配慮に係る基準適合性

適合性	<input checked="" type="checkbox"/> 適 ・ 否
適合性を証明する資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有害物質等に係る溶出試験の試験成績書 ・ 有害物質等に係る含有量試験の試験成績書
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌環境基準のうち原材料であるばいじんに含まれる可能性のある重金属類及びダイオキシン類について試験を実施した。〇〇については、基準値近い値であったが、過去〇か月の検査結果（計〇回）においていずれも基準値内であることを確認済。

3 配合率に係る基準適合性

(1) エコマーク製品等の該当の有無

エコマーク認定基準に配合率基準が定められている製品又は北海道グリーン購入基本方針で定める環境物品等調達方針で掲げる特定調達品目への該当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">該当配合率</td> <td>エコマーク認定基準(再生路盤材): 再生材料の合計質量が製品質量全体の50%以上</td> </tr> </table>	該当配合率
該当配合率	エコマーク認定基準(再生路盤材): 再生材料の合計質量が製品質量全体の50%以上	

(2) 循環資源の配合率（1製品あたり重量比）

循環資源の種類	配合率 (%)	その他材料の種類	配合率 (%)
ばいじん (石炭灰)	80%	再生骨材 (有価購入)	15%
		セメント系固化剤	4%
		薬剤 (不溶化剤)	1%
合 計	80%	合 計	20%
特記事項	※ 使用する薬剤 (不溶化剤) はばいじん中に含まれる重金属類の不溶化剤 (詳細は別添資料〇のとおり)		